

(学校用)

様式 A-1

平成25年7月30日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 長野県諏訪清陵高等学校・塩野敏彦
2. 講師氏名: Mr. Ivan V. Borzenets
3. 同行者氏名: なし
4. 実施日時: 平成25年 7月23日 (火) 14:20~15:50
5. 参加生徒: 2年生 26人、 ___年生 ___人、 ___年生 ___人 (合計 26人)
備考: (例:理数科の生徒)2学年 SSH 講座生徒
6. 講演題目: (英文)
(和文) 超電導-グラフェン接合を利用した量子エンタングラー
7. 講演概要:
導入部で講師の出身国と、日本での研究生生活についてお話して頂いてから本題に入った。
量子力学の基礎的な概論と、講師の研究分野について
グラフェンの顕微鏡観察
科学者に必要な心構え
QA
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 60分 質疑応答時間 15分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演、顕微鏡を用いて講師が作成したグラフェンの実物を観察した。
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
なし
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
講師から事前に指定されたテクニカルターム一覧と研究概要を生徒に配布し各自予習。
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
なし
11. その他特筆すべき事項:
なし